

畜産再編総合対策事業 地域有機性廃棄物再生施設整備事業

事業名		施設設置場所	
畜産再編総合対策事業 地域有機性廃棄物再生施設整備事業			
事業主体		施設設置場所	
栃木県塩谷郡高根沢町		栃木県塩谷郡高根沢町	
1 事業概要	(1) 全体概要	【事業内容】 家庭より排出される生ゴミと牛糞尿と籾殻を原料として有機質堆肥製造事業、さらには生産された堆肥を利用した農産物の地域内流通事業を推進している。 【事業実施計画】 平成10年度～平成11年度：建設工事着工～完成 平成12年度：事業開始	
	(2) 変換対象物	種類	量
		1. 牛糞尿	17.0t/日
		2. 生ゴミ	3.0t/日
		3. もみがら	4.0t/日
		4.	
		5.	
		小計	24.0t/日
		(たい肥化)	8.5t/日
		(液肥)	6.4t/日
		種類	該当対象物の集荷エリア
		1. 牛糞尿	町内酪農家より収集
		2. 生ゴミ	主に市街化区域を中心に収集
		3. もみがら	農業協同組合カントリーエレベータ・町内耕種農家等
		4.	
		5.	
		計画規模	第1期： 第2期： 原材料：7,200t/年 稼働日数：300日/年
(3) 変換プロセス	【基本変換技術】 堆肥化：株式会社荏原製作所製のパドル式攪拌高速堆肥化方式		
	【構成・要素技術】 構成機器：発酵設備、脱臭設備、液肥化設備、製品保管庫等 要素技術：原材料と水分調査剤の籾殻を投入し、パドル攪拌を行い発酵促進を行う		
	【技術の熟成度】 平成13年度は、年間1,780tの堆肥を町内農家へ出荷。 山形県長井市において同じパドル式攪拌による生ゴミ、畜ふん、籾殻のたい肥化を平成9年2月から取り組まれている。		
(4) 事業の枠組み	【施設整備事業費とその財源】 施設建設費：約6億6千万円 財源：国庫 約50%・県費 約16.5% 町費 約33.5%（起債等）		
	【総事業費とその費用構成】 施設建設費の他に土地購入費、備品整備費あり。 さらに、年間約3,700万円の運営経費を要する。		
	【事業収支構造】 事業収入：牛糞尿等処理 500円/t 堆肥販売 4,000円/t 堆肥散布 1,000円/t 事業支出：人件費委託費で約57%、光熱水費で約24%、他経費が約19%		
	【事業収支】		

2 事業化および事業展開面での課題や同種事業の促進方策

(1)事業化の経緯とポイント

【経緯】

平成10年頃から生ゴミの減量化と畜産農家の環境対策に加えて環境保全型農業に対する機運が高まり、先進地視察並びに現地説明会等を実施して平成10年度、平成11年度において建設着工・竣工を迎えた。

(2)変換対象物の集荷の仕組み

牛糞尿：町内酪農家で組織を立ち上げて収集。家庭生ゴミは、現在収集している業者をそのまま活用。
 籾殻は、主にJAカントリーを中心に直営で収集。

(3)事業化に至る関係者の意思形成

- ・視察の実施：建築に際しての先進地視察を実施。
- ・説明会の開催：建設地周辺住民に対する説明会を開催。

(4)主要要素技術とその制度面での対応 / 技術開発課題

先進事例を調査し、脱臭装置と堆肥化施設を特に注目して今回の施設整備を行った。

(5)変換製品の種類とその販路（利用先）確保の仕組み

堆肥・液肥：主に町内耕種農家及び園芸農家で利用。一部家庭菜園用にも利用されている。

(6)施設整備などの財源の確保方策

農水省「環境保全型畜産確立対策事業」及び環境省「地域有機性廃棄物再生施設整備事業」の補助対象として、施設建設費約50%補助。県費上乗せ約16%

(7)事業経営見通しと採算面でのポイント・課題

当面は赤字経営が予想される。

(8)現行事業経営面での課題と対応方向

堆肥を利用した農産物の高付加価値化（ブランド化）や、地域内農産物流通への方策が検討されている。

